

おおば利信 議会だより

第27号

令和7年3月発行



発行者 大場利信後援会 〒699-0552 島根県出雲市斐川町中洲1175番地
編集者 大場利信 電話/FAX: 0853-72-1611 メール: ohba@ohba-toshinobu.com

公式ホームページ：
http://ohba-toshinobu.com

3月議会は2月17日から3月17日まで開かれました。この議会だよりでは、斐川地域に関する予算、一般質問、その他の活動を報告します。

令和7年度予算を可決

① 一般会計当初予算

919億6千万円。対前年度比21億9千万円、2.4%の増。

市長選挙のため骨格予算。新規の政策的経費は6月補正予算で対応する。

② 斐川地域に関係する予算が議会で可決。主なものは次の通りです。

ア 斐川行政センターの多目的棟（文化会館）建設工事費及び建設工事管理業務委託料 6億8,870万円。

令和8年10月に供用開始

イ 久木コミセンの近隣の市有地への移転。建物設計と地質調査費2,654万円。令和8年度に建設・設備工事を実施

ウ 斐川インター企業団地の造成に伴う道路改良（斐川610号線の舗装）及び周辺環境整備（西谷川改修、側溝蓋掛け、道路照明等設置）4,340万円

エ 荘原三絡線の用地買収および物件補償

オ 直江新川アンダーパス遮断器設置工事1,340万円

カ 斐川行政センター南の新川中央線への歩道整備工事（4年目で最終）

キ 西野小学校校舎増築：児童数の増による普通教室不足に対応する。

令和11年度には、普通教室28、理科室2、多目的教室1とする。

令和7年度・8年度に鉄骨3階建ての増築工事を行う。5億8,300万円（継続費）

国民スポーツ大会の準備のため30人を増員する定数条例を可決

出雲市での開催種目

- 令和12年（2030）に島根県内各所において「国民スポーツ大会」と「全国障がい者スポーツ大会」の開催が予定されています。
- 準備のための事務局を令和7年度に設置し、令和8年度から年次的に職員を増員（新規採用）します。

「国民スポーツ大会」（10競技）：陸上競技、高校野球（硬式）、ソフトボール、柔道、県道、なぎなた、自転車（トラック）、アーチェリー、ゴルフ、ウエイトリフティング

「全国障がい者スポーツ大会」（4競技）：陸上競技、アーチェリー、ボッチャ、フットソフトボール

国土交通省へ道路関係の要望活動を実施

- 3月2日（日）に建設中であった山陰道の出雲・湖陵および湖陵・多伎区間が全面開通しました。開通式は強い雨に見舞われましたが、地域の子供による神楽、高校生による演奏で完成を祝いました。
- 次は、長い間要望されていた「**中海・宍道湖圏の道路のネットワーク（8の字ルート）**」を完成させ、圏域の経済や観光の振興、圏域内での物流の振興、災害時や緊急時の速やかな対応を可能とする道路整備に取り掛かるよう国（国土交通省）へ強く働きかけることが必要と考えます。
- 今年の1月16日に会派で国土交通政務官高見康裕氏へ要望活動を行いました。要望項目は、道路関

係を中心に6項目（8の字ルートも含まれます。）で、高見政務官からは「高規格道路境港出雲道路（8の字ルート）について、国土交通省内に検討組織を立ち上げた」旨の報告がありました。



手前が高見康裕国土交通政務官



中海・宍道湖圏を取り巻く8の字ルート

3月議会では地域で課題となっている項目のうち、2つの項目について質問しました。

A コミセン職員のマンパワーの発揮について

コミセンは、地域のまちづくりの拠点であり、職員の自由な発想により、地域の活性化をもたらすことができるマンパワーの施設であると考えております。このような観点から質問をしました。

(答弁者：間島総合政策部長)

① 最近のコミセン職員の応募状況はどうか

- 43コミセンで全部で202人の職員（令和7年1月末時点）がいる。
- 直近の3年度（R4～R6）で、募集57人に対し95人の応募者があった。

② 勤務時間および給与について伺う。

A 勤務時間は適正に管理されているか

→職員の勤務時間は1か月を平均して週40時間以内と定められており、土日・祝日・夜間勤務がある場合は、平日の勤務時間と調整し、週40時間以内に収まるようにしている。

イ コミセン職員の給与は会計年度任用職員（事務補助）並みと聞いている。コミセン職員は、地域の人々や団体等と触れ合いながらまちづくりを模索したり、自主企画事業を実施したりする重要な役割を担っており、この点を反映した給与水準が必要と考える。特にマネジャーの給与水準を高くしてもよいと考えるが所見を伺う。

→マネジャーの給与水準について、今後も改善に努めていきたい。

③ 社会教育主事又は社会教育士の資格を持っている職員の数を伺う。

→社会教育士は、現在、17コミセンに24人おり、2人が受講中。コミセン活動や多様な分野の学習支援を通じたひとづくりや地域づくりに期待しており、資格取得に必要な経費（旅費や教材費）を負担している。

④ 市からコミセンへの依頼業務について見直し状況を

伺う。

→ 現在「自治会等負担軽減検討委員会」を立ち上げ見直し検討を進めている。令和6年度中には一定の方向をまとめたい。

B 出雲市における消防団員の確保について

消防団員の確保については地域（自治会）の大きな課題となっております。若い団員の確保が困難で、年配の経験者が引き続き務めざるを得ない状況が多くの地域で続いております。また、今年度から将来の団員体制について、改革が推進されていますが、この点についても質問しました。 (答弁者：矢野消防長)

① 現在の定員と団員数について伺う。

→定員：R6年4月1日から1773人

現員：1541人。(→充足率86.9%)

団員の充足率は86.9%で、定員より68人少ないが、隣接分団との連携を取ることで、消防業務の遂行に支障がないようにしている。

(*R7年4月1日から定員は1773人→1600人(▲173人))

→定員の将来計画（令和10年度末で見直しが完了）

- ・1分団2部体制：分団長、副分団長、伝令部長、団員20人（1部に10人×2部）＝23人（炎上・火災対応）
- ・大規模災害対応団員：各分団5人。
最終的には各分団28人体制とする。

② 自治会における消防団員のなり手不足への対策を伺う。

→基本は自治会選出の継続をお願いしたい。自治会未加入者宅へのポスティングやサークル仲間やイベント時での個人的勧誘などが19の分団で実施されている。引き続ききめ細かな対策が必要である。

③ 消防団員であることによる優遇策として、地域通貨「いずも縁結びPAY」での優遇策の考えを伺う。

→（間島総合政策部長） 予算的な面もあるので検討したい。

多文化共生・環境教育について

故坪田愛華さんが作成した「地球の秘密」のポルトガル語版の出版を「アイカ・アイ」のメンバー（代表：坪田揚子）で企画していましたが、このほど完成し、市長へ贈呈されました。市内には多くのブラジル人の子供がおり、市内の拠点校をはじめ関係者で地球環境の保全に向けて活用して欲しいと思います。



2月19日市長へ「地球の秘密」ポルトガル語本の贈呈



※ページ数に限りがあり一部を抜粋して掲載しております。詳しくはホームページを閲覧して頂ければと思います。

おおばとしのぶ

検索

問い合わせ先

〒699-0552 島根県出雲市斐川町中洲 1175 番地
電話 / FAX : 0853-72-1611 メール : ohba@ohba-toshinobu.com
公式ホームページ : http://ohba-toshinobu.com